(問題7の続き)

問4 直交座標系の z軸上にある無限に長い導線に、zの正の向きに電流 Iが流れている。この電流のうち(0,0,z')の位置の微小部分 dz'上を流れる部分が xy平面上の任意の位置 (x,y,0)に作るベクトルポテンシャル Aは、

$$\frac{\mu_0 I}{4\pi} \frac{dz'}{\sqrt{x^2 + y^2 + z'^2}} \mathbf{e}_z$$

(ここに \mathbf{e}_z は z方向単位ベクトル) である。このとき以下の設問(1)、設問(2)に答えよ。解答用紙には途中計算も記せ。

- (1) 上記の式を用い、この電流のうち z = -a から z = b (a, bは定数で、a > 0, b > 0 とする)を流れる部分が(x,y,0)に作るベクトルポテンシャル Aの 3 成分 A_x , A_y , A_z の表式を求めよ。途中計算においては、 $\frac{1}{\sqrt{x^2+c^2}}$ (c は定数)の不定積分は $\ln(\sqrt{x^2+c^2}+x)$ である事を用いても良い。
- (2) (1) で求めた Aの表式から、上記の電流部分が位置 P(d,0,0)に作る磁束密度の y 成分 B_v を求めよ。ただし、dは定数で、d>0とする。